



安全普及啓発活動等 ガイドブック

地域と学校でつくる学びの未来

はじめに

P T A・青少年教育団体共済法（平成22年法律第42号 以下、「P T A等共済法」という）が施行されてから約8年が経ち、平成30年4月現在、27の団体が、P T A等共済法に基づき行政庁の認可を受けて共済事業を行っています。また、認可団体の多くは、共済金給付事業の他に、P T A等共済法に基づく「青少年の安全に関する普及啓発活動その他青少年の健康の保持増進に資する事業（以下「安全普及啓発活動等」という。）」を実施しています。

本ガイドは、

- ①現在、全国の共済団体において実施されている、安全普及啓発活動等の情報を集約し
- ②教育委員会の担当者、行政庁の認可を受けて共済事業を実施する団体（以下「共済団体」という）等の関係者間で共有することで

安全普及啓発活動等の更なる発展を通じて、児童生徒等の健全育成や健康・福祉の増進を図ることを目的として作成しました。

本ガイドを、みなさまの実施する共済事業及び安全普及啓発活動等の一助としていただければ幸いです。

本ガイドの使い方

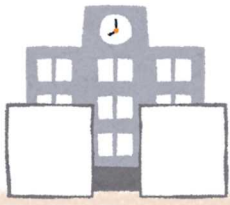
共済事業をはじめて担当される方

まずは、共済室員メンバーの会話やコメント、全国で実施されている具体的な事例などを参照しながら、共済事業の全体像を把握しましょう。

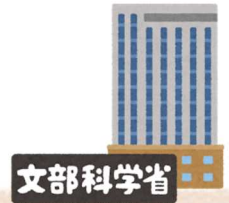
全体像が把握できてきたら、細かな法律や政策、会計等の事項を、巻末の法規集やインターネット活用しながら理解していきましょう。

共済事業の基本事項が把握できている方～ベテランの方

基本事項の確認をしながら、全国で実施されている事業の事例や、課題解決のためのQ&Aをご覧ください。また、助成先への情報提供として、安全プログラムを提供してくれる団体などのメニュー表をご活用ください。



目 次



- 1. やさしく解説！P T A等共済法と共済団体の事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 3
 共済事業の目的と役割 保険業法の改正とP T A・青少年教育団体共済法の成立
 P T A等共済法に基づく共済事業 制度共済のメリット 安全普及啓発活動等とは
- 2. 安全普及啓発活動等の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 5
 安全普及啓発活動等調査の結果 共済団体の安全普及啓発活動等実践例
- 3. 安全普及啓発活動Q & A・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 1 1
 情報収集について マンパワーや財源の不足について マンネリ化について
- 4. 共済団体における公益性と地域と学校の連携・協働・・・・・・・・・・・・・・・・P 1 8
 共済団体の事業 公益認定について 公益目的事業とは 共済事業の公益性について
 地域学校協働活動 土曜学習応援団
- 5. 参 考・・P 2 4

〔 文部科学省生涯学習政策局社会教育課
 P T A等共済室のメンバー紹介 〕

本書は、P T A・青少年教育団体共済法に基づく共済制度や共済団体の活動が、地域や学校においてどのような役割を果たしているのかを正しく理解し、各地で実践されている安全普及啓発活動等の事例や、課題を共有することを目的として作成しました。やさしく分かりやすい解説のために、随所にP T A等共済室のメンバーが登場し、みなさんをサポートします。

日々共済の修業に打ち込む若手職員。これまで地域と学校の連携・協働に長く携わってきており、その経験を生かして共済に取り組む。ファンドレイジング※や Excel の資格を保有している。意思是強いがお腹は弱い。



P T A等共済法や保険業法はじめ、様々な法律や制度、財務会計の知識と豊富な経験を持ち合わせた共済のプロフェッショナル。資格も、ファイナンシャルプランナーや個人情報保護士を筆頭に、数多く保有している。美味しいお店をたくさん知っている。

共済室の紅一点。細かな作業が得意で、共済室のメンバーをしっかりとサポートしながら、共済団体のみなさまからの電話にも丁寧に対応する。ピアノや習字が特技。

※ファンドレイジングとは

非営利団体が、活動のための資金を個人、法人、政府などから集める行為の総称。財源を得るだけでなく、団体が解決しようとする社会課題への理解と共感を広げていくことを通じて、社会課題の解決自体にも貢献するもの。